

# ゆずり葉



編集：中野・高橋・片岡

2021年11月発行  
星槎学園高等部  
横浜ポートサイド校  
星槎国際高等学校  
横浜ポートサイドキャンパス

人を認める  
人を排除しない  
仲間を作る

星槎学園高等部 横浜ポートサイド校 校長 望月 展弘よりみなさんへメッセージです。

## 「自分の見つめ直し」

緊急事態宣言も解除され、色々なことが緩和されてきました。感染者数も下火になり気持ちも緩みがちですが、第6波が来ないように再度気を引き締めなければなりません。

今月から行事が多く実施されます。研修旅行も長野県に行けることになりました。文化祭も昨年度同様規模を縮小して行います。我々一人ひとりが感染対策を意識した行動をすることで、楽しい時間を確保できます。行事は生徒を成長させてくれます。失敗も成功も大切な財産です。是非積極的に行動してください。

自分の感受性くらい  
ばさばさに乾いてゆく心を  
ひとのせいにはするな  
みずから水やりを怠っておいて  
気難しくなってきたのを  
友人のせいにはするな  
しなやかさを失ったのはどちらなのか  
苛立つのを  
近親のせいにはするな  
なにかも下手だったのはわたくし  
初心消えかかるのを  
暮らしのせいにはするな  
そもそものが ひよわな志しにすぎなかった  
歌目なことの一切を  
時代のせいにはするな  
わずかに光る尊厳の放棄  
自分の感受性くらい  
自分で守れ  
ばかもよ

さて、今月は皆さんにこの詩を紹介します。

この詩は、国語の教科書にも出てくる茨木のり子さんの詩です。うまくいかないことを誰かのせいにして、何かのせいにしてするのは簡単です。しかしそれで良いのでしょうか？ 不平不満からは何も生まれません。世の中には理不尽なこともたくさんあります。その中で自分がどうやって折り合いをつけていくかが大切です。自分の人生は自分しか歩けません。誰も一緒に歩いてはいけません。人のせいにはかりするのではなく、自分のことを振り返り、自分の足で責任をもって歩く力を身に付けてください。未来はいくらでも変えられるのですから。



## フリースクール通信

今月はフリースクール生活の大きなイベントの一つである文化祭がありました。今年の文化祭はどんな展示にするのか、みんなで意見を出し合いながら話し合いを進めました。話し合いが射的にまとまってからは、限られた期間の中で各班に分かれて作業や研究をし、お互いに協力しながら展示を完成させることが出来ました！いつもと違う雰囲気は最初はみんな緊張した様子でしたが、慣れてくると楽しそうに過ごしていました。また一つフリースクールの思い出が増えました。

平本

## 第15回秋桜祭 11月20日・21日



11月20・21日の2日間で第15回秋桜祭が開催されました。今年度のテーマは「Swimmy」。昨年度同様飲食物の販売ができない上、今年度は初となる校舎を2つ利用しての実施となりました。未知なことが多々あり、悩む場面がたくさんあったと思いますが、そういった“逆流”を良い方向に捉え、1か月以上前から実行委員を中心にさまざまな工夫を凝らしていた姿が印象的でした。昨年度とはまた違った良さが発見できたと共に、クラス・学年が一体となって実施する行事が生徒にとって大きな成長の場になったと感じます。ご協力・ご視聴・ご来場いただいた保護者の方々に心より感謝申し上げます。(関)



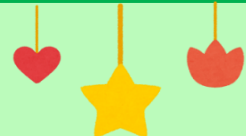
## 夢了法師の合格へのチェック



《問題》 次の英文の下線部に注意して、日本語に訳しなさい。

- 1) You must attend to what I say.
- 2) You must attend on your sick mother.

## 横浜ポートサイド校の学園通信「ゆずり葉」について



「ゆずり葉」の名は、春に枝先に若葉が出たあと、前年の葉がそれに譲るように落葉することからつけました。その様子を、親が子を育てて家が代々続いていくように見立てて縁起物とされています。親から子どもへ 大人から子どもへ受け継いでいくものはたくさんあります。保護者の方と共に子どもへ伝えていく、という思いで学園通信「ゆずり葉」をつくりました。





## アイススケート 11月10日



11月10日(水)に横浜銀行アイスアリーナにて、アイススケートが行われました。久しぶりの行事ということで、生徒たちの生き生きとした姿を見ることができました！1年生はほとんどの人が初めてアイススケートを体験するというので、初心者講習会を受ける人が多くいました。慣れない靴で悪戦苦闘しながらも、少しずつ滑ろうとしている姿がとても印象的でした。また、滑れる人は初心者には滑り方を教えたり、支えてあげたり、助け合う姿が素敵でした！（勝又）



## SAAB2021 11月13日



11月13日(土)に『SAAB2021』が開催されました。アフリカ・アジアを“知る”そして“繋がる”という意味の「知繋(ちけい)」をテーマに、世界を題材にした学びを深めていきました。アフリカにはいろんなイメージを持つ方が多いと思いますが、ネガティブなものも少なくないと思います。しかし、ファッション文化や音楽文化等、根ざしている文化はどれも、明るく、陽気で楽しいものばかりです。そんな異文化に触れながら「良さ」を知り、知見を広げていきました。(池尾)



## 12月 月間予定

日	曜	行事	課外活動
1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	TDS	
7	火	代休	
8	水	劇団四季	
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	後期中間試験(1, 2年)	
14	火	後期中間試験(1, 2年)	
15	水	星槎オリンピック【クリエイティブ】	
16	木		
17	金		
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金	授業終了	
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

広域通信制高校  
技能連携校



※平素の学校運営にあたり、多くの保護者の皆様からご協力を賜り、心より御礼申し上げます。  
今後とも生徒たちのための行事や集まりに皆様の更なるご協力を宜しくお願い申し上げます。  
星槎学園高等部 横浜ポートサイド校 星槎国際高等学校 横浜ポートサイドキャンパス  
横浜市神奈川区栄町8-4 TEL:045-451-6751 FAX:045-451-6755  
URL <http://www.seisagakuen.jp> [星槎学園高等部:横浜ポートサイド校]を参照

《解説》  
1) 私の言うことに注意すべきだ。  
attend to ~ は「~に注意する、~に精を出す」で、attend on (or upon) は「~に仕える、~に付き添う、~を看護する」という意味になる。また、前者の名詞形は attention で、後者の名詞形は attendance になる。

《解説》  
2) 君は病気のお母さんを看護すべきだ。